

平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社 エムティーアイ 上場取引所 JQ
 コード番号 9438 URL <http://www.mti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 コーポレート・サポート本部長 (氏名) 松本 博 (TEL)03(5333)6323
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績 (平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	22,908	22.1	1,946	12.8	1,948	15.2	1,117	△18.2
21年9月期第3四半期	18,760	—	1,725	—	1,691	—	1,367	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	8,337.63	8,295.82
21年9月期第3四半期	10,186.35	10,113.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	13,616	7,505	54.4	55,569.69
21年9月期	12,557	6,807	53.7	50,227.79

(参考)自己資本 22年9月期第3四半期 7,400百万円 21年9月期 6,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想 (平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	18.5	3,000	35.6	2,970	36.4	1,720	3.0	12,914.85

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、添付資料5ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年9月期 第3四半期	133,880株	21年9月期	134,342株
22年9月期 第3四半期	700株	21年9月期	一株
22年9月期 第3四半期	134,070株	21年9月期 第3四半期	134,202株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

(業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- 本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスクなど、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響なども含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては四半期決算短信 添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	5
2	その他の情報	5
(1)	重要な子会社の異動の概要	5
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	5
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	5
3	四半期連結財務諸表	6
(1)	四半期連結貸借対照表	6
(2)	四半期連結損益計算書	8
	【第3四半期連結累計期間】	8
	【第3四半期連結会計期間】	9
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
	【第3四半期連結累計期間】	10
	【第3四半期連結会計期間】	11
(4)	継続企業の前提に関する注記	12
(5)	セグメント情報	12
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	14
(7)	その他注記情報	14

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 2010年9月期 第3四半期の概況（2010年4月1日～2010年6月30日）

当第3四半期は、広告宣伝費を中心とした費用コントロールにより利益拡大を優先しました。健康情報や天気情報など費用対効果の高い分野を中心に効率性を重視したプロモーション展開を実施しましたが、前四半期に比べて広告宣伝費を抑制したことが影響し、2010年6月末の有料会員数は931万人（2010年3月末比2万人減）となりました。

売上高は、有料会員数が前年同期末に比べ178万人拡大したことにより7,882百万円（前年同期比19.0%増）となりました。売上総利益は、増収効果および原価率の低い健康情報やデコレーションメールの比率拡大に伴う原価率の低下により、5,762百万円（同23.2%増）と大幅に増加しました。

営業利益、経常利益は、販売費及び一般管理費のうち広告宣伝費、支払手数料、人件費などが前年同期に比べて増加したものの、売上総利益の大幅な増益により吸収し1,279百万円（同43.4%増）、1,282百万円（同44.3%増）となりました。

四半期純利益は、特別損失として75百万円を計上しましたが、税金等調整前当期純利益の増益により727百万円（同44.2%増）となりました。

2010年9月期 第1四半期および第2四半期に関する定性的情報については、「平成22年9月期 第1四半期決算短信」（2010年1月28日開示）および「平成22年9月期 第2四半期決算短信」（2010年4月28日開示）をご参照ください。

連結業績（2010年4月1日～2010年6月30日）

（単位：百万円）

	2010年9月期 第3四半期会計期間	2009年9月期 第3四半期会計期間	増減	
			金額	増減率
売上高	7,882	6,621	1,260	19.0%
売上総利益	5,762	4,676	1,085	23.2%
営業利益	1,279	892	387	43.4%
経常利益	1,282	888	393	44.3%
四半期純利益	727	504	222	44.2%

（注）記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

連結業績（2009年10月1日～2010年6月30日）

（単位：百万円）

	2010年9月期 第3四半期累計期間	2009年9月期 第3四半期累計期間	増減	
			金額	増減率
売上高	22,908	18,760	4,147	22.1%
売上総利益	16,615	12,948	3,667	28.3%
営業利益	1,946	1,725	220	12.8%
経常利益	1,948	1,691	257	15.2%
四半期純利益	1,117	1,367	△249	△18.2%

（注）記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

② 事業セグメント別の概況

(コンテンツ配信事業)

健康情報では、引き続き費用対効果の高いテレビ CM を中心としたプロモーション展開により有料会員数は順調に拡大しました。また、天気情報でも、効率的なプロモーション展開により有料会員数を拡大することができました。

一方、利益拡大を優先し広告宣伝費を抑制したことにより、音楽系コンテンツやデコレーションメールの有料会員数が減少し、2010年6月末の有料会員数は931万人(2010年3月末比2万人減)となりました。

売上高は7,805百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益は1,380百万円(同38.3%増)となりました。

(自社メディア型広告事業)

先行的費用投資に伴う赤字額を最小限に抑えながら登録会員の活性度の向上に取り組みました。2010年6月末の登録会員数は441万人(2010年3月末比3万人増)、売上高は126百万円(前年同期比1.2%減)、営業損失は64百万円(前年同期は営業損失87百万円)となりました。

セグメント別連結売上高 (2010年4月1日～2010年6月30日)

(単位:百万円)

	2010年9月期 第3四半期会計期間		2009年9月期 第3四半期会計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンテンツ配信	7,805	99.0%	6,511	98.3%	1,293	19.9%
自社メディア型広告	126	1.6%	128	1.9%	△1	△1.2%
連結合計	7,882	100.0%	6,621	100.0%	1,260	19.0%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における売上高連結合計額には、消去又は全社の数値(2010年9月期 第3四半期 △49百万円、2009年9月期 第3四半期 △17百万円)を含んでいます。

セグメント別連結営業利益 (2010年4月1日～2010年6月30日)

(単位:百万円)

	2010年9月期 第3四半期会計期間		2009年9月期 第3四半期会計期間		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
コンテンツ配信	1,380	17.7%	998	15.3%	382	38.3%
自社メディア型広告	△64	△50.6%	△87	△68.0%	23	—
連結合計	1,279	16.2%	892	13.5%	387	43.4%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における営業利益連結合計額には、消去又は全社の数値(2010年9月期 第3四半期 △37百万円、2009年9月期 第3四半期 △19百万円)を含んでいます。

セグメント別連結売上高 (2009年10月1日～2010年6月30日)

(単位:百万円)

	2010年9月期 第3四半期累計期間		2009年9月期 第3四半期累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンテンツ配信	22,632	98.8%	18,397	98.1%	4,234	23.0%
自社メディア型広告	408	1.8%	426	2.3%	△18	△4.4%
連結合計	22,908	100.0%	18,760	100.0%	4,147	22.1%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における売上高連結合計額には、消去又は全社の数値(2010年9月期 第3四半期 △132百万円、2009年9月期 第3四半期 △64百万円)を含んでいます。

セグメント別連結営業利益（2009年10月1日～2010年6月30日）

（単位：百万円）

	2010年9月期 第3四半期累計期間		2009年9月期 第3四半期累計期間		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
コンテンツ配信	2,311	10.2%	2,091	11.4%	219	10.5%
自社メディア型広告	△249	△61.1%	△306	△71.8%	56	—
連結合計	1,946	8.5%	1,725	9.2%	220	12.8%

（注）記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における営業利益連結合計額には、消去又は全社の数値（2010年9月期 第3四半期 △114百万円、2009年9月期 第3四半期 △59百万円）を含んでいます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は13,616百万円となり、2009年9月末対比1,058百万円の増加となりました。

資産の部については、流動資産ではその他流動資産（前渡金）が減少しましたが、主に売掛金、現金及び預金の増加により923百万円の増加となり、固定資産では主にソフトウエア、繰延税金資産の増加により135百万円の増加となりました。

負債の部については、流動負債ではその他流動負債が減少しましたが、主に買掛金、未払法人税などの増加により488百万円の増加となり、固定負債では主に長期借入金の減少により127百万円の減少となりました。

純資産の部については、配当金の支払や自己株式の増加などがありましたが、四半期純利益として1,117百万円を計上したことにより698百万円の増加となりました。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年9月期 第3四半期末	13,616	7,505	54.4	55,569.69
2009年9月期末	12,557	6,807	53.7	50,227.79

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物は、2010年3月末対比517百万円増加の1,896百万円となりました。当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払や未払金の減少による資金流出がありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などにより1,021百万円の資金流入（前年同期は401百万円の資金流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（主にソフトウエア）の取得による支出などにより367百万円の資金流出（前年同期は291百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出などにより135百万円の資金流出（前年同期は38百万円の資金流出）となりました。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2010年9月期 第3四半期	1,021	△367	△135	1,896
2009年9月期 第3四半期	401	△291	△38	1,216
2009年9月期	1,740	△1,081	△551	1,532

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2010年9月期の連結業績予想は、2010年4月28日に発表した数値から変更はありません。通期業績予想の達成に向けて、以下の取り組みを行っていきます。

(コンテンツ配信事業)

引き続き成長が期待できる健康情報や天気情報では、ユーザーニーズを反映したサイト企画に取り組むとともに、費用対効果の高いプロモーションを展開し、有料会員数の拡大を目指します。

音楽系コンテンツでは、市場全体が成熟期を迎えていることなどもあり、有料会員数の伸びは慎重に捉えています。人気楽曲獲得やキャンペーンなどの実施により顧客満足度の向上に取り組めます。

その他のコンテンツにおいても、費用対効果をより厳しく検証し、効率の高い分野を厳選したプロモーション展開を行っていきます。

7月から健康情報や音楽の主力コンテンツでスマートフォンサイトをスタートさせました。その他コンテンツのスマートフォン化を進めていくとともに、独自の会員認証・決済システムサービス「mopita（モピタ）」のように新たな収益モデルの構築に取り組んでいます。

(自社メディア型広告事業)

自社メディア型広告事業では、引き続きプロモーションなどの先行費用投資による赤字額をコントロールしながら、メディア力の向上に向けて登録会員の活性度を高める取り組みや、システム基盤の強化に注力します。

広告収入については、現時点では大きく拡大させることが難しいため、新たにマネタイズ化できる仕組みの確立や当社有料課金サイトへの誘導による課金収入の拡大を通じて、全社の採算向上に取り組んでいきます。

2010年9月期の通期業績予想
(2009年10月1日～2010年9月30日)

連結		
売上高	30,500百万円	(前期比 18.5%増加)
営業利益	3,000百万円	(前期比 35.6%増加)
経常利益	2,970百万円	(前期比 36.4%増加)
当期純利益	1,720百万円	(前期比 3.0%増加)

2 その他の情報**(1) 重要な子会社の異動の概要**

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

2010年9月期第3四半期末の貸倒実績率などが2009年9月期末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、2009年9月期末の貸倒実績率などを使用して貸倒見積高を算定しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,896,058	1,532,367
売掛金	7,638,217	6,733,666
貯蔵品	6,171	6,336
繰延税金資産	670,858	658,367
その他	426,976	769,895
貸倒引当金	△354,731	△340,726
流動資産合計	10,283,551	9,359,907
固定資産		
有形固定資産	220,039	213,468
無形固定資産		
ソフトウェア	1,419,029	1,338,488
その他	10,601	6,765
無形固定資産合計	1,429,630	1,345,253
投資その他の資産		
投資有価証券	557,896	594,702
敷金及び保証金	593,512	593,512
繰延税金資産	498,338	420,902
その他	46,761	39,530
貸倒引当金	△13,531	△9,860
投資その他の資産合計	1,682,978	1,638,787
固定資産合計	3,332,648	3,197,509
資産合計	13,616,200	12,557,417

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,175,619	1,974,322
1年内返済予定の長期借入金	200,196	200,196
未払金	1,279,354	1,123,063
未払法人税等	617,232	432,006
賞与引当金	145,722	—
コイン等引当金	875,828	803,064
その他	229,306	502,374
流動負債合計	5,523,260	5,035,027
固定負債		
長期借入金	349,363	499,510
退職給付引当金	149,610	120,409
負ののれん	88,410	95,248
その他	141	141
固定負債合計	587,524	715,309
負債合計	6,110,784	5,750,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,541,658	2,535,392
資本剰余金	3,051,838	3,045,573
利益剰余金	1,873,399	1,123,839
自己株式	△90,624	—
株主資本合計	7,376,272	6,704,805
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24,498	42,897
評価・換算差額等合計	24,498	42,897
新株予約権	104,644	59,377
純資産合計	7,505,415	6,807,080
負債純資産合計	13,616,200	12,557,417

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	18,760,522	22,908,376
売上原価	5,812,348	6,292,943
売上総利益	12,948,174	16,615,432
販売費及び一般管理費	11,222,186	14,668,541
営業利益	1,725,987	1,946,891
営業外収益		
受取利息	397	67
受取配当金	3,098	3,683
負ののれん償却額	6,838	6,838
持分法による投資利益	—	427
その他	4,847	8,938
営業外収益合計	15,182	19,954
営業外費用		
支払利息	15,745	13,263
持分法による投資損失	596	—
消費税等調整額	24,229	—
その他	9,507	5,431
営業外費用合計	50,079	18,695
経常利益	1,691,091	1,948,151
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,864	—
その他	6	—
特別利益合計	2,871	—
特別損失		
固定資産除却損	77,590	50,498
リース解約損	—	55,768
投資有価証券評価損	19,185	—
関係会社株式売却損	3,503	—
退職給付費用	89,116	—
コンテンツ情報料	109,245	—
特別損失合計	298,640	106,266
税金等調整前四半期純利益	1,395,321	1,841,884
法人税、住民税及び事業税	234,093	801,352
法人税等調整額	△205,811	△77,299
法人税等合計	28,282	724,053
四半期純利益	1,367,039	1,117,831

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	6,621,839	7,882,195
売上原価	1,945,097	2,120,076
売上総利益	4,676,741	5,762,119
販売費及び一般管理費	3,784,635	4,482,961
営業利益	892,106	1,279,157
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	2,973	3,677
負ののれん償却額	2,279	2,279
その他	2,866	3,018
営業外収益合計	8,124	8,986
営業外費用		
支払利息	4,948	4,255
その他	6,560	1,194
営業外費用合計	11,508	5,449
経常利益	888,722	1,282,694
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,268	—
特別利益合計	1,268	—
特別損失		
固定資産除却損	—	20,117
リース解約損	—	55,768
投資有価証券評価損	40	—
コンテンツ情報料	4,927	—
特別損失合計	4,967	75,885
税金等調整前四半期純利益	885,022	1,206,808
法人税、住民税及び事業税	196,551	499,437
法人税等調整額	184,053	△19,871
法人税等合計	380,605	479,565
四半期純利益	504,417	727,242

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,395,321	1,841,884
減価償却費	642,317	690,097
退職給付引当金の増減額(△は減少)	111,070	29,200
受取利息及び受取配当金	△3,496	△3,750
コイン等引当金	76,888	72,763
売上債権の増減額(△は増加)	△1,025,011	△904,551
仕入債務の増減額(△は減少)	475,106	201,296
未払金の増減額(△は減少)	251,793	156,361
その他	△22,821	334,153
小計	1,901,166	2,417,456
利息及び配当金の受取額	3,496	3,750
利息の支払額	△15,745	△13,263
法人税等の支払額	△791,826	△611,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,097,090	1,796,845
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△927,170	△793,546
関係会社株式の売却による収入	216,000	—
その他	△55,706	△43,097
投資活動によるキャッシュ・フロー	△766,876	△836,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△150,147	△150,147
自己株式の取得による支出	△223,985	△190,211
配当金の支払額	△135,687	△268,684
その他	△28,285	12,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,105	△596,510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,890	363,690
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,113	1,532,367
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△18,217	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,216,005	1,896,058

【第3四半期連結会計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	885,022	1,206,808
減価償却費	220,882	222,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,317	8,400
受取利息及び受取配当金	△2,978	△3,687
コイン等引当金	△70,821	△27,464
売上債権の増減額(△は増加)	△242,318	△18,562
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,361	△24,357
未払金の増減額(△は減少)	△25,893	△111,291
その他	△199,663	△4,184
小計	454,186	1,247,776
利息及び配当金の受取額	2,978	3,687
利息の支払額	△4,948	△4,255
法人税等の支払額	△51,022	△226,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,194	1,021,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△338,851	△333,572
その他	47,115	△34,038
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,735	△367,610
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,049	△50,049
自己株式の取得による支出	—	△90,624
その他	11,924	4,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,124	△135,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,334	517,716
現金及び現金同等物の四半期首残高	1,144,670	1,378,341
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,216,005	1,896,058

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報**【事業の種類別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,397,980	362,541	18,760,522	—	18,760,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	64,144	64,144	(64,144)	—
計	18,397,980	426,686	18,824,666	(64,144)	18,760,522
営業利益又は営業損失(△)	2,091,257	△306,210	1,785,046	(59,059)	1,725,987

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,628,024	280,351	22,908,376	—	22,908,376
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,496	127,678	132,175	(132,175)	—
計	22,632,521	408,029	23,040,551	(132,175)	22,908,376
営業利益又は営業損失(△)	2,311,179	△249,361	2,061,818	(114,927)	1,946,891

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

- 1 事業区分の方法・・・サービスの内容および特性を考慮して区分しています。
- 2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。
 コンテンツ配信事業・・・モバイル・コンテンツ配信（公式サイト運営）、広告代理店等
 自社メディア型広告事業・・・モバイル・コンテンツ配信（一般サイト運営）、広告代理店等

前第3四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	6,511,673	110,166	6,621,839	—	6,621,839
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	17,926	17,926	(17,926)	—
計	6,511,673	128,092	6,639,765	(17,926)	6,621,839
営業利益又は営業損失(△)	998,434	△87,153	911,281	(19,174)	892,106

当第3四半期連結会計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	7,801,001	81,193	7,882,195	—	7,882,195
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,492	45,325	49,817	(49,817)	—
計	7,805,494	126,518	7,932,013	(49,817)	7,882,195
営業利益又は営業損失(△)	1,380,688	△64,004	1,316,684	(37,526)	1,279,157

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

- 1 事業区分の方法・・・サービスの内容および特性を考慮して区分しています。
- 2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。
コンテンツ配信事業・・・モバイル・コンテンツ配信（公式サイト運営）、広告代理店等
自社メディア型広告事業・・・モバイル・コンテンツ配信（一般サイト運営）、広告代理店等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年10月1日至平成21年6月30日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年6月30日）ならびに

前第3四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）および当第3四半期連結会計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年10月1日至平成21年6月30日）および当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日至平成22年6月30日）ならびに

前第3四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）および当第3四半期連結会計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自平成21年10月1日 至 平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(7) その他注記情報

（重要な後発事象）

重要な子会社等の株式の売却

1. その旨および理由

当社は、平成22年6月24日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である株式会社イーツの保有全株式を丸紅株式会社に譲渡することを決議し、平成22年7月29日に譲渡しました。

株式会社イーツは、インターネットデータセンタービジネスをトータルに展開しており、当社はコンテンツ配信におけるデータセンター利用などを通じて双方の事業拡大に向け相互に協力してきましたが、株式会社イーツの企業価値向上にとってより有益と判断したため、株式を譲渡しました。

2. 売却する相手会社の名称

丸紅株式会社

3. 売却の時期

平成22年7月29日

4. 当該子会社等の名称、事業内容および会社との取引内容

- | | |
|------------|-----------------------------|
| ① 名称 | 株式会社イーツ |
| ② 事業の内容 | コンピューターおよびネットワークの企画、設計、運用管理 |
| ③ 当社との取引内容 | コンピューターおよびネットワークの運用管理 |

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益および売却後の持分比率

- | | |
|------------|--------|
| ① 売却株式数 | 4,724株 |
| ② 売却価額 | 236百万円 |
| ③ 売却益 | 103百万円 |
| ④ 売却後の持分比率 | —% |